

恵風会だより

第 15 号

2014

(平成26年)

9. 1

社会福祉法人 恵風会 〒371-0017 前橋市日吉町 2 丁目20番地14 TEL(027)231-3430 FAX(027)231-3420

最近マスコミとの対談、在京の友人、県会議員との懇談などを通して外部の人たちの福祉への卓見を披露され、私共の高齢者福祉の事業への責任の重さを痛感いたしました。この介護の仕事はやもすれば内向きになりがちで、常に外部の空気を吸収する必要があると同時に、私たちの心を持つべき理念についても追求しておくことが要請されると思います。

福祉事業に従事された先覚者の心情は戦後の法秩序が整った時代からはそれなりに記述されており、ある意味では公にされているといえましよう。

巻頭言



賀川豊彦に見る福祉の原点

理事長 田 辺

誠

戻ろうとしたのか、または当時は日露戦争勝利で沸いていた経済好況にあやかつて事業を起こしてみようか、との風潮も見えず、その中で、キリスト教の親友となった森川抱次郎議（後に議長）の熱烈な勧奨に心を打たれて、この未知の世界に飛び込み「未来への構築」を手がけることになったのか、いずれにしても先行きに見通しも経営への確信もつかめずにいたが、養老施設を頼って集まった老人の生命維持に死にものぐるいで日々汗を流したので

げたことは多くの人々の知るところであります。しかも文学者・賀川豊彦は、哲学、思想、宗教家としても時代のリーダーでありました。彼の数多くの著作の中でも厳しい風潮のなか書き続けた「組織保険論」は現代から次世代に繋がる社会体制の骨格をなす社会保険（生命、年金、医療、福祉）を展望していることを忘れてはなりません。

①賀川豊彦が特に世に問うたのは自然災害、人為災害への有効な備えを求めると同時に科学だけでは律しきれない自然の力に対処する人間の謙虚な態度が求められることである。

②またそれ以上に人間社会に大事なことはあらゆる事象に対して助け合い、力を出し合って事の成果をはかることである。

しかし、戦前の篤志家といわれる事業家は単なる興味本位で難事業に飛び込んだとは考えられず、また逆に宗教的奉仕の精神だけで困難な環境の下で事業経営を遂行できたはずもないと思われる。

私共の一番身近な人物としての「田辺熊蔵」が老人扶養の仕事に従事した直接的動機もそれほど明確ではありません。兵役を終えて故郷新潟に帰郷し、農業に従事しようと考えたのか、あるいは兵隊に行く前に数年担当していた教育現場に

あります。人類愛と使命感が物事を動かす大きな要因となり得るが、その背景に人間共通の意識が動くことはないかという私たちの素朴な疑問に対し明解に応えた好個の事例があります。私の一生を通して敬愛しやまなかった「賀川豊彦先生」は困難な戦前の福祉事業（大阪貧民救済）を自らの才能と努力による著作（小説「死線を越えて」など）の空前のベストセラーによって得た印税を全て投入することに

によって経営を見事に成し遂げたことは多くの人の知るところであります。しかも文学者・賀川豊彦は、哲学、思想、宗教家としても時代のリーダーでありました。彼の数多くの著作の中でも厳しい風潮のなか書き続けた「組織保険論」は現代から次世代に繋がる社会体制の骨格をなす社会保険（生命、年金、医療、福祉）を展望していることを忘れてはなりません。

③賀川理論から感じることが出来るのは、福祉に挺身しようとする能動的な行為は正しくその人の持つ意識によって個人から周辺に、更に組織的行動に発展する必然性が備わっていることにあると思います。

従って現に福祉の第一線を担っている私共の責任は、自意識を内包している人材に福祉への参加を一層力をつくして呼びかけるか、にかかっていると思

日本協同組合保険論

賀川 豊彦

(一九四〇、一〇、四)

瀬戸内海豊島

序

貧困の原因は主として自然的災厄と人間的災厄の二つから来る。しかしこれらの災厄を予知してこれを防止し得ることは非常に困難である。

近代科学の任務は、その災厄を予知し、その災厄を克服することが最大の任務であるけれども、不幸にして近代科学はその領域にま

ます。そしてそのこの意味は人間の持つ共助への願望を最大限発揮してもらうことに通ずると思うからで

す。
信念を胸に秘めて前進いたしましょう。

リベラル群馬所属県議会議員七名が恵風会視察に来訪

【福祉現場の実情を知る】

平成二十六年六月十二日にリベラル群馬所属県議会議員七名が来訪し、恵風会の現状視察と福祉施設の抱える問題点について田辺理事長、田辺施設長、渡辺園長とのディスカッションを行った。

○恵風会の沿革を説明

田辺理事長が恵風会の沿革や、戦前・戦後の高齢者福祉の先駆的役割を果たしてきた恵風会の福祉の原点についての説明を行った。

○養護老人ホームの性格と変化

次に、田辺施設長より養護老人ホームの実情報告をした。

・養護老人ホームは福祉施設の原点となる施設であること。

・介護保険制度下では特定保険施設であり、市町村の措置施設という性格があること。

・前老は市町村の理解もあり、定員割れは無いが、他の県内養護では、措置控えでの定員割れが発生していること。

・養護でも介護認定を受け、要介護状態になる人が八割と多いこと。

・経済的理由（生活保護者など）での入所者よりも、精神疾患での入所者が多くなっていること。

・介護報酬改定などでの養護老人ホームに対する対策はほとんどない（消費増税での介護報酬改定があったが、養護には適用されていない）。

○人材確保の困難性

更に、施設職員の確保について、人材が集まらない実情報告をした。

・昨年度の新卒採用はゼロであったこと。

・福祉養成校や専門学校に働きかけをして募集したが、応募がなかった事実。

・ハローワークや福祉マンパワーセンター等にも募集を出す、応募は採用まで繋がらない。

渡辺園長からは人材確保の難しさを補足しての報告をした。

・養成校も就職での実績作りに主眼を置いているこ

とで、一年生修了などの早い時期に、特待生制度などで介護職よりも優遇される医療への就職を斡旋していること。

・そのため、純粋に介護士として卒業、就職を希望する生徒が激減していること。

・また、福祉を目指しての入学する生徒も激減して、養成校の存続に関しても危惧されていること。

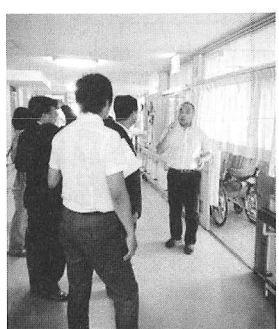
○法改定は、現場の実情に役立つか

更に、「地域医療・介護推進法」成立によって、在宅福祉（特に訪問介護・通所介護）が来年度以降大きく変貌することの予測を含めた現状を報告した。

・社会福祉法人は地域貢献として、その持てる資源（人・モノ・金）を地域に積極的に活用すること。

・地域支援事業として予防給付者の市町村移行での、サービス水準が全国均一にならなくなること。

・法人経営を安定させる対応策として、特養の増床などの自前でできる手を打



っていくこと。

・社会福祉法人の地域包括ケアでの役割と課題について、国の政策と現状直面している施設経営の困難さ、更に高齢者の介護保険制度に対する要望には開きがあり、来年度以降の制度の施行段階では、消費増税の件と相まって、全国的に不満の声が高まってくるのではないかと予測できること。

これらの内容について、

事業活動報告

前橋老人ホーム

プチ外出



今年度、前橋老人ホームでは、少人数で実施するプチ外出を企画しました。今までのような大人数で行く外出も楽しいですが、利用者一人ひとりに要望を聞き、希望に沿った外出を少人数で数多く実施しています。「お寿司が食べたい」という希望の利用者には回転寿司、「季節の花を育て

ご理解を深めてくださったと思われます。

その後、施設の現場見学では、ご利用者とのふれあいを通じて高齢者福祉施設に対する生の声を聞いていた、だけました。また、職員の仕事ぶりを見て介護職員の労働に理解を示してくださいました。

今後も事業体からの発信ができればと考えております。

（田辺・渡辺）

スイートピークラブ



利用者のクラブ活動でスイートピークラブがあります。前老は、二階・三階に居室があり、庭がないため、二階ベランダにプランターを置いて、園芸の好きな利用者が集まり、季節の花を育てたり、夏野菜の苗を植えて収穫を楽しんでいます。

ヒタガざりを満喫

七月は七夕祭り見物に出かけました。ちょうど台風



残暑が続いておりますが、いかがお過ごしですか。恵風園では年四回の誕生会を開催しておりますが、今回は六月に行われたあやめ会の様子を紹介いたします。今回の出し物はさまざまな種類のサックスに打楽器が入った「ケーズカフェ」の演奏を聴かせていただきました。このケーズカフェには恵風園のアイドル職員、廣田さんが入っており、ご利用者の皆様も職場とは違う廣田さんを見て、大きな歓声を上げておられました。

あやめ会



恵風園

す。プチ外出で買ってきた花の苗をみんなで植えました。綺麗に花を咲かせて癒されています。

ヒタ飾りを作成

お爺ちゃん・お婆ちゃんが仲良く手を繋いだ恵風園デイの雰囲気になったり作品となりました。玄関ホールに飾り、作品を囲んで記念撮影です。



十三人の〇歳〜二歳の子供さんがママさんと一緒に遊びに来てくれました。お年寄りとお赤ちゃんの交流は見ていて心が和みますね。おばあちゃんたちは、だっこが上手です。

赤ちゃんの慰問



前橋市恵風園
デイサービスセンター

が近づいておりましたが、幸い雨にも降られず出品物の見物や、おやつソフトクリームなど楽しまれました。

恵風園ホームヘルパーステーション



は、十三人のヘルパーが働

春にじゃが芋を植え、収穫に行ってきました。取れたじゃが芋でおやつ作りに挑戦、じゃが芋餅を作り皆で食べました。皆さん慣れた手つきで上手に作ってくださいました。

じゃが芋餅作り



田辺理事長がデイで歌を披露。アカペラで三曲の歌を歌ってください、利用者さんも一緒に口ずさみ朗らかな時間を過ごしました。最後は、理事長の元気な姿に笑顔と拍手でした。

92歳の歌声を披露



ヘルパーステーションに、十三人のヘルパーが働いてます。個別援助計画に沿った生活支援（家事援助）や身体支援（食事介助や排泄介助）を提供しています。介護保険のサービスです。大掃除的なことやペットの散歩などはできません。利用者が住み慣れた地域の中で在宅生活が送れるように、自立支援に基づき行います。思いやりと優しさ、いつも笑顔のケアサービスを目指しています。今後とも、宜しくお願いいたします。

NEW和食（乳和食）を ご存じですか？



（写真はゼリー食です）

栄養・調理課

牛乳を使った和食料理のことです。

和食は一般的には、バランスがよいとされていますが塩分を摂りすぎてしまうことがあります。牛乳にはタンパク質、カルシウム、アミノ酸等の栄養素が多く含まれています。

牛乳を使った料理には減塩、骨の強化、熱中症予防等の効果があります。恵風会でも食事に取り入れています。その一つをご紹介します。

前橋市地域包括 支援センター中央東

開設5年目を迎えました



前橋市地域包括支援センター中央東は、平成二十二年四月に開設しました。介護の総合相談窓口として、今後も地域の方々と力を合わせて頑張ります。

【ミル味噌スープ】四人分

- ・じゃが芋 中二個
- ・人参 三cm位
- ・椎茸 二枚
- ・玉葱 一／二個
- ・ベーコン 一枚
- ・味噌 大さじ二・五
- ・牛乳 二〇〇cc
- ・顆粒だし 少量
- ・水 五〇〇cc

（作り方）

- ①野菜とベーコンは食べやすい大きさに切る。
 - ②鍋に野菜と水を入れ火にかける。
 - ③煮立ったら顆粒だしとベーコンを加える。
 - ④野菜が煮えたら味噌と牛乳を加え沸騰する手前で火を止めてできあがり。
 - ⑤器に盛り付ける。
- *野菜はあるものなんでも大丈夫です。葉物野菜も試してください。

平成25年度決算報告

事業活動収支計算書

資金収支計算書

財産目録

平成26年3月31日現在

自 平成25年4月1日～至 平成26年3月31日

自 平成25年4月1日～至 平成26年3月31日

(単位：円)

(単位：円)

(単位：円)

資産・負債の内訳	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	181,140,949
現金	49,402
普通預金	
群馬銀行 前橋支店	262,091,547
しのめ信用金庫 前橋営業部	60,000,000
定期預金	
群馬銀行 前橋支店	100,000
※内 基本財産定期預金	-100,000
※現金預金のうち下記積立預金として計上	
施設整備等積立資産	-141,000,000
事業未収金	
介護報酬 他	68,586,312
立替金	4,256
前払費用・仮払金	
火災保険料 他	1,266,700
流動資産合計	250,998,217
2 固定資産	
①基本財産	
建物	535,197,501
建物付属設備	45,906,163
土地	63,332,080
定期預金	100,000
基本財産合計	644,535,744
②その他の固定資産	
構築物	781,151
車輛運搬具	2,506,341
器具及び備品	6,860,504
ソフトウェア	103,054
退職給付積立資産	6,394,319
※施設整備等積立資産	141,000,000
その他の固定資産	143,580
権利	20,000
その他の固定資産合計	157,808,949
固定資産合計	802,344,693
資産合計 (A)	1,053,342,910
II 負債の部	
1 流動負債	
事業未払金	
各業者支払	23,703,814
1年以内返済予定設備資金借入金	
福祉医療機構	8,330,000
職員預り金	
社会保険料 他	3,161,957
流動負債合計	35,195,771
2 固定負債	
設備資金借入金	77,080,000
退職給付引当金	6,394,319
固定負債計	83,474,319
負債合計 (B)	118,670,090
差引純資産 (A - B)	934,672,820

勘定科目	決 算
介護保険事業収益	453,862,435
老人福祉事業収益	150,124,586
障害福祉サービス等事業収益	335,149
経常経費寄附金収益	2,300,000
サービス活動収益計(1)	606,622,170
人件費	424,972,068
事業費	99,176,671
事務費	48,029,507
減価償却費	39,126,131
国庫補助金等特別積立金取崩額	△15,494,702
サービス活動費用計(2)	595,809,675
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	10,812,495
借入金利息補助金収益	1,160,000
受取利息配当金収益	208
その他のサービス活動外収益	6,911,921
サービス活動外収益計(4)	8,072,129
支払利息	1,744,000
その他のサービス活動外費用	109,638
サービス活動外費用計(5)	1,853,638
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	6,218,491
経常増減差額(7) = (3) + (6)	17,030,986
特別収益計(8)	0
固定資産売却損・処分損	4
その他の特別損失	13,474,977
特別費用計(9)	13,474,981
特別増減差額(10) = (8) - (9)	△13,474,981
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	3,556,005
前期繰越活動増減差額(12)	479,200,193
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	482,756,198
基本金取崩額(14)	100,000
その他の積立金取崩額(15)	
その他の積立金積立額(16)	24,000,000
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	458,856,198

勘定科目	決 算
介護保険事業収入	453,862,435
老人福祉事業収入	150,124,586
障害福祉サービス等事業収入	335,149
借入金利息補助金収入	1,160,000
経常経費寄附金収入	2,300,000
受取利息配当金収入	208
その他の収入	6,802,283
事業活動収入計(1)	614,584,661
人件費支出	425,134,157
事業費支出	99,176,671
事務費支出	48,029,507
支払利息支出	1,744,000
事業活動支出計(2)	574,084,335
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	40,500,326
施設整備等収入計(4)	
設備資金借入金元金償還支出	8,330,000
固定資産取得支出	6,405,018
施設整備等支出計(5)	14,735,018
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	△14,735,018
積立資産取崩収入	1,017,185
その他の活動収入計(7)	1,017,185
積立資産支出	24,855,096
その他の活動支出計(8)	24,855,096
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	△23,837,911
予備費支出(10)	-
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	1,927,397
前期末支払資金残高(12)	222,205,049
当期末支払資金残高(11) + (12)	224,132,446

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

資産の部	当年度末
流動資産	250,998,217
現金預金	181,140,949
事業未収金	68,586,312
立替金	4,256
前払費用	1,264,200
仮払金	2,500
固定資産	802,344,693
基本財産	644,535,744
土地	63,332,080
建物	535,197,501
建物付属設備	45,906,163
定期預金	100,000
その他の固定資産	157,808,949
構築物	781,151
車輛運搬具	2,506,341
器具及び備品	6,860,504
権利	20,000
ソフトウェア	103,054
退職給付引当資産	6,394,319
施設整備等積立資産	141,000,000
その他の固定資産	143,580
資産の部合計	1,053,342,910

負債の部	当年度末
流動負債	35,195,771
事業未払金	23,703,814
1年以内返済予定設備資金借入金	8,330,000
職員預り金	3,161,957
固定負債	83,474,319
設備資金借入金	77,080,000
退職給付引当金	6,394,319
負債の部合計	118,670,090
純資産の部	
基本金	127,552,880
第1号基本金	127,552,880
国庫補助金等特別積立金	207,263,742
その他の積立金	141,000,000
施設・設備整備積立金(措置)	30,000,000
施設整備等積立金	111,000,000
次期繰越活動増減差額	458,856,198
(うち当期活動増減差額)	3,556,005
純資産の部合計	934,672,820
負債及び純資産の部合計	1,053,342,910